



2026 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 四電工
代 表 者 代表取締役 社長 関谷 幸男
(コード番号：1939 東証プライム)
問合せ先 理事 企画部長 宮本 昌保
(TEL 087-840-0223)

業績予想の修正ならびに剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2027 年 3 月期の業績予想の修正ならびに 2026 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正につきまして、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2027 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	108,000	9,400	9,900	6,600	139.39
今回修正予想(B)	110,000	11,000	11,500	7,900	166.85
増減額(B-A)	2,000	1,600	1,600	1,300	
増減率(%)	1.9	17.0	16.2	19.7	
(ご参考)前期実績 (2026 年 3 月期)	99,448	8,822	9,327	7,500	158.51

2027 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	95,000	8,000	8,500	5,800	122.50
今回修正予想(B)	97,000	9,300	10,000	7,000	147.84
増減額(B-A)	2,000	1,300	1,500	1,200	
増減率(%)	2.1	16.3	17.6	20.7	
(ご参考)前期実績 (2026 年 3 月期)	84,072	6,403	7,113	6,120	129.35

業績予想の修正の理由

2027 年 3 月期の業績予想については、第 2 四半期までの順調な工事進捗ならびに手持ち工事の現況等を勘案し、売上高・各利益ともに上方修正することとしました。

なお、『中期経営指針 2030』で掲げた数値目標等については、今後の業績動向や事業環境の変化を注視しながら、見直しを検討してまいります。

2. 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正（増配）

剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2026年4月30日公表)	前期実績 (2026年3月期中間)
基準日	2026年9月30日	同左	2025年9月30日
1株当たり配当金	50円00銭	42円00銭	32円00銭
配当総額	2,368百万円	—	1,514百万円
効力発生日	2026年11月30日	—	2025年11月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

期末配当予想の修正

	年 間 配 当 金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 [2026年4月30日公表]	42円00銭	42円00銭	84円00銭
今回修正予想		50円00銭	100円00銭
当期実績	50円00銭		
前期実績 [2026年3月期]	32円00銭	45円00銭	77円00銭

剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正の理由

当社は2026年1月に『中期経営指針2030』を策定・公表し、資本収益性の向上と資本構成の適正化を企図した株主還元方針を掲げております。この方針に基づき、今回の当期業績予想の上方修正を踏まえ、中間配当金を直近の配当予想から増額とするとともに、期末配当金の予想についても増配修正を行うことといたしました。

この結果、中間配当金は50円、期末配当金は50円となり、1株当たり年間配当金は、前期に比べ23円増配の100円となります。

※ 業績予想および配当予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在の見通し、計画に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上